

内水ハザードマップ

内水ハザードマップ (内水浸水想定区域図) について

- この区域図は、想定最大規模降雨がこの地域全体に一律に降った場合の浸水を想定しています。
- 局地的な集中豪雨の発生や土地利用状況の変化などによっては、この図面で浸水していない箇所でも浸水の被害が発生する可能性があります。

1.0m
~1.0m未満(床上浸水)
0.5m
~0.5m未満(床下浸水)
0.3m
~0.3m未満(道路冠水)

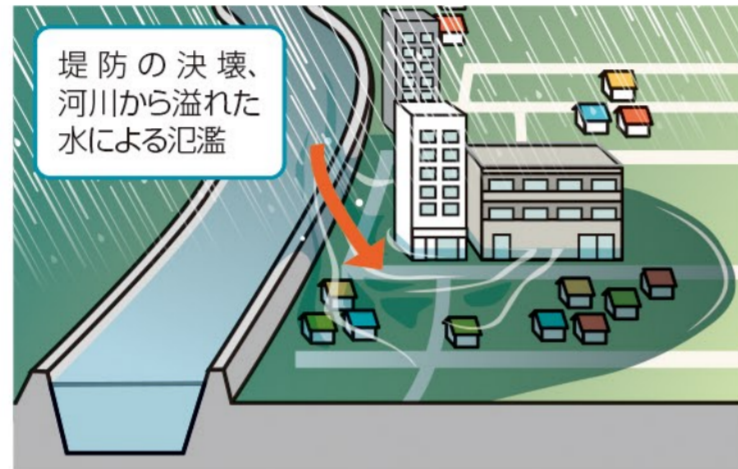


内水氾濫



降った雨は水路などを通して河川に放流されます。しかし、近年雨の降り方が局地的に激しさを増しており水路などの排水施設の能力が追いつかず排水できないことがあります。このように降った雨が河川にたどり着く前に地域で溢れて浸水する状態を「内水氾濫」と呼びます。

外水氾濫



大雨によって河川の水位が高くなり堤防を越えて水が溢れたり(溢水)、堤防が壊れたり(決壊、破堤)する場合があります。このような河川が原因で地域が浸水することを「外水氾濫」と呼びます。
※外水による浸水想定区域図はP31~P78を参照

内水浸水想定区域とは

(説明)

- ① 右のページの区域図は益田市における浸水被害が生じた地域を対象として、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による内水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- ② この内水浸水想定区域図は、指定時点の排水施設状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う雨水出水により、内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- ③ このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる想定最大規模降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定していない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際と異なる場合があります。
- ④ このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先河川の水位を想定される計画高水位に設定しています。

【作成主体】 益田市
 【指定年月日】 令和7年1月31日
 【指定の根拠法令】 水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2
 【対象となる地区】 須子中島第一排水区
 【指定の前提となる降雨】 想定最大規模降雨(時間最大雨量142mm)
 【境界条件】 樋門封鎖。雨水ポンプは稼働する条件としています。

内水ハザードマップ (内水浸水想定区域図)

